

インフルエンザの流行と対応について③

インフルエンザの予防策は？

／ 知っていますか？ /

「インフルエンザ脳症」

インフルエンザ脳症は、特に1～3歳の小児において、発熱して2日以内に起こりやすく、死亡率は約30%で、後遺症も約25%の子どもに見られる重篤な疾患で、ワクチン接種が唯一の予防策です。



／ ワクチン接種 /



ワクチン接種はインフルエンザのもっとも効果的な予防法です。

- 不活化インフルエンザHAワクチン
- 経鼻弱毒生インフルエンザワクチン

生ワクチンは2023年から2歳～19歳未満の子どもが選択できるようになりました（生ワクチンとは、病原性を弱めた生きたウイルスを使用したワクチンで、接種後ワクチンウイルスを、最長3-4週間排出する可能性があります）

世田谷区に住所を有する生後6か月～15歳（中学生まで）の子どものインフルエンザ予防接種費用の一部の助成を行っています【[世田谷区HP](#)】



妊婦・授乳婦さん、免疫不全、ミトコンドリア脳筋症、ゼラチンアレルギー、ウイルスが中枢神経系に伝播しやすい解剖学的バリアー破綻のある患者や、家族が免疫不全症、抗がん剤治療を受けている、移植後であるなどの場合には、**不活化インフルエンザHAワクチン**が推奨されます。